

専門職大学院日本語教育実践領域専任教員公募について

国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科日本語教育実践領域では、下記の通り専任教員の公募を行います。

公立大学法人第一号として 2004 年に開学した国際教養大学において、専門職大学院は、2008 年 9 月に開設されました。発信力実践領域、英語教育実践領域、日本語教育実践領域の 3 領域があり、外国語教師やグローバル・コミュニケーションの実務家として世界的に活躍できる人材の育成に努めています。また、国内唯一の日本語教育の専門職大学院でもあります。国際教養大学と本学専門職大学院の国際的に通用する人材育成の理念に賛同し、なお且つ、専門職大学院における実務家育成の特色と目的を理解、推進できる方の応募をお待ちしています。将来的には登録日本語教員養成機関、並びに登録実践研修機関に申請予定。大学および大学院の詳細は、本学ウェブサイト <https://web.aiu.ac.jp/> をご参照ください。

記

1. 職 種 教授、准教授、助教、講師（経験、経歴による）
2. 募集人数 1 名
3. 採用時期 2025 年（令和 7 年）4 月 1 日または同年 9 月 1 日より
4. 所 属 公立大学法人国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科日本語教育実践領域
5. 職務内容 大学院における日本語教師養成に関わる授業、教育実習指導を担当する。授業は秋学期 15 週、冬期プログラム 7.5 週、春学期 15 週の 3 期にわたり開講されている。年間 7～9 科目担当が目安となる。
職務内容の詳細は以下のとおり：
 - 日本語教育大学院担当科目（日本語教育分野、応用言語学分野の中から専門に応じて検討）
 - 大学院日本語教育実習指導（院修了論文 Action Research Paper 執筆指導を含む）
 - 自律研究指導
 - 院生へのアドバイジング

- 学術論文、学会発表等の研究活動の遂行
- その他：学内外委員会委員等

6. 資格要件 以下 (1)-(4)の条件をすべて満たしていること。

- (1) 日本語教育または関連分野における博士号または同等の業績を有すること
- (2) 3年以上の日本語教育歴をもつこと。尚、日本語プログラムのコーディネーターや教員養成の経験を有することが望ましい。
- (3) 会議参加、アドバイジングなど英語によるコミュニケーション能力を有すること
- (4) 授業や教育実習など他教員と連携して日本語で指導できること

7. 契約形態 任期付契約（3年任期で2回まで更新の可能性あり、テニユア契約への移行の可能性あり）

8. 待遇 ・大学就業規程、給与規程による。年俸は経歴等により決定。

- ・ 公舎貸与料の一部を大学で負担。研究費の支給あり。
- ・ 社会保険等：地方職員共済組合団体共済部、全国健康保険協会（協会けんぽ）、雇用保険。

9. 応募方法 募集人員に達するまで応募を受け付けます。下記 URL よりオンラインフォームにアクセスし、必要事項を入力の上、以下応募書類をアップロードしてください。

以下 (a) ～ (d) の書類をご提出ください。（様式は任意）

- (a) 本学への応募動機及び教育哲学、研究に対する抱負を述べたエッセイ（日本語・英語 各1部）
- (b) 履歴書（様式自由）、担当科目、使用テキスト名、機関名、教育実務累積時間数を含む詳細な教育歴と研究業績一覧（日本語・英語 各1部）
- (c) 主要な研究論文など2点
- (d) 推薦者3名の氏名および連絡先

オンライン申請フォーム: <https://forms.gle/d9MJ9VXoH8vAv4Gf6>

10. 選考方法

第1次審査：書類選考

第2次審査：ビデオ審査

第3次審査：オンライン（Zoom）面接

第4次審査：対面面接及び模擬授業

選考開始日：2024年6月1日

書類選考を通過した候補者には、①応募動機、②このポジションの有力な候補者であるとする理由を簡潔に説明した1～2分程度の短い動画の提出を求める。ビデオ審査を通過した応募者には Zoom 面接を予定している。オンライン面接合格者は、本学で模擬授業と最終面接試験を行う。その際に本学および周辺地域見学が可能。

*最終面接にかかる旅費は本学旅費規程に従い支給します。

11.お問い合わせ先 国際教養大学 事務局教職員支援室

電話：018-886-5829

E-mail: f-search2@aiu.ac.jp

Web: <https://web.aiu.ac.jp/>